

尿細管間質性腎炎の病理組織学的特徴の比較・検討

2008年1月1日から2022年11月14日までに日本医科大学多摩永山病院腎臓内科で免疫チェックポイント阻害薬（ICI）関連の尿細管間質性腎炎（TIN）、ICI以外の薬剤性TIN、間質性腎炎ぶどう膜炎（TINU）と診断を受けられた患者さま

研究協力をお願い

当科では「尿細管間質性腎炎の病理組織学的特徴の比較・検討」という研究を日本医科大学中央倫理委員会の承認及び学長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

（1）研究の概要について

研究課題名：尿細管間質性腎炎の病理組織学的特徴の比較・検討

研究期間：実施許可日～2024年3月31日

当院における研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 腎臓内科 金子 朋広

（2）研究の意義、目的について

ICIが関連するTIN 8例、ICI以外の薬剤性TIN 6例、TINU（Tubulointerstitial nephritis with uveitis）11例のホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）組織検体を用いて、ICI関連TIN、ICI以外の薬剤、自己免疫性疾患によるTINをそれぞれ比較・検討することにより、TINの発症・進展機序を明らかにします。

（3）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

2008年1月1日から2022年11月14日までに日本医科大学多摩永山病院 腎臓内科にて、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）関連のTIN、ICI以外の薬剤性TIN、間質性腎炎ぶどう膜炎（TINU）と診断を受けられた患者さまの腎生検検体などを光学顕微鏡や免疫蛍光染色所見を検討します。腎生検検体の解析は日本医科大学付属病院 解析人体病理学で行われます。研究実施期間は実施許可日から2024年3月31日までです。本研究は、外部機関との利益相反はありません。

（4）共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：日本医科大学付属病院 解析人体病理学

研究全体の責任者：日本医科大学付属病院 学解析人体病理学 清水章

その他の共同研究機関：日本医科大学付属病院（研究責任者：酒井 行直）、日本医科大学武蔵小杉病院（研究責任者：三井 亜希子）、日本医科大学千葉北総病院（研究責任者：山田 剛久）

（5）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

（6）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

（7）当院における問い合わせ等の連絡先

日本医科大学多摩永山病院 腎臓内科 部長 金子 朋広

〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1

電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302

メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp